

ほっぷ
すてっぷ

じゃ
JAんぷ

2023

6

Vol.292

特集

第24回通常総代会

番外編

ちやぐりんスクールを開催！

「食農立国 J A いわて中央」を支える生産者の思いをつなぐコーナー――



J A は5月13日、今年度1回目のちやぐりんスクー
ルを盛岡市の藤村勉さんの
圃場で開催し、管内の小学
1～3年生の児童とその保
護者18組56人が参加しまし
た。圃場での田植え体験の
開催は4年ぶりで、参加者
は J A 青年部員や J A 職員
の指導を受けながら、県産
ブランド米「銀河のしずく」
を手植えました。

J A は5月13日、今年度1回目のちやぐりんスクー
ルを盛岡市の藤村勉さんの
圃場で開催し、管内の小学
1～3年生の児童とその保
護者18組56人が参加しまし
た。圃場での田植え体験の
開催は4年ぶりで、参加者
は J A 青年部員や J A 職員
の指導を受けながら、県産
ブランド米「銀河のしずく」
を手植えました。

田植え体験後には、青年
部主催の〇×クイズも実
施。米にまつわる問題を出
題し、全問正解した児童に
は A コープ商品の詰め合わ
せを贈りました。また、終
わりには参加者全員に J A
女性部手作りのもちと、も
ち性小麦「もち姫」の食パ
ンがお土産として手渡され
ました。

参加した児童は「泥の上
は動きづらくて植えるのが
難しかったけれど、慣れて
きて真つすぐ植えることが
できて良かった」と笑顔で
振り返り、指導した青年部
の高橋徹委員長は「体験を
通じて、農産物を作る農家
の大変さや収穫の喜びを肌
で感じてほしい」と期待を
込めました。

J A では今年度、ちやぐ
りんスクールの開催を全3
回予定しており、次回は8
月に農業機械の見学会、9
月には今回田植えをした田
んぼで稲刈りを体験する予
定です。





青年部のお兄さん
よろしく
お願いします！



初めての田んぼに
ドキドキ…



みんなで田植え
たのしいね！



元気に
育ってね！



おいしいおもちを
召し上がれ♪



目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国 ……………	2
ちやぐりんスクールを開催！	
特集 ……………	4
第24回通常総代会	
NewsFile ……………	8
「銀河のしずく」のさらなる飛躍を	
達増県知事が田植え 他	
営農情報 ……………	10
分けつ期から幼穂形成期の管理について 他	
生活推進課よりお知らせ ……………	12
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！	
まちのスマイル ……………	13
インフォメーション……………	14
JAバンク岩手サマーキャンペーン2023 他	
今月のレシピ ……………	16
新ジャガイモとホタルイカのサラダ	



特集

第24回通常総代会



J Aは5月30日、矢巾町文化会館「田園ホール」で第24回通常総代会を開催しました。総代495人が出席し、令和4年度事業報告及び剰余金処分案の承認、令和5年度事業計画の設定など全7議案が審議され、全て原案通り可決されました。

また、今年度は第八次中期3カ年計画及び農業振興計画の2年度目となります。JAいわて中央では、農家組合員の所得向上・生産拡大に向けて、「食農立国」JAいわて中央「ブランドのさらなる普及拡大に取り組んでまいります。

持続可能な

地域農業の確立を

開会にあたり、浅沼清組合長は「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や急激な円安などにより、肥料や飼料、燃油等の価格が上昇し、農家は大変厳しい経営を余儀なくされている」と指摘し、

職員一体となって改善・改革に鋭意努力していく」とあいさつしました。

佐々木雅博専務が総代会の成立を報告後、議事進行に入り、提出された全7議案が原案通り可決されました。

令和4年度の事業利益は計画を2億1759万円で回る、3億5428万円を計上。当期剰余金は4億617万円となり、2期連続の黒字決算を結ぶことができました。

「政府は今こそ農業政策を強化し、国民の命に直結する食料生産について重要視すべきと考える」と強調。「さらなる農業振興と豊かな暮らしを築くため、組合員の皆さまの要望に応えるべく、役

を果たすべく、引き続き取り組んでまいります。

総代会成立の報告

(人)

総代数	定足数	本人出席	委任状出席	書面出席	計
626	313	223	0	272	495



議長団には、(写真右から)岡市充司さん(紫波地域)、立花純幸さん(矢巾地域)、兼平哲哉さん(盛岡地域)の3人が選出されました



あいさつする浅沼組合長



表彰者の皆さま

提出議案

- 第1号議案 定款の一部変更について
- 第2号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第3号議案 令和4年度(第24年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第4号議案 令和5年度(第25年度)事業計画の設定について
- 第5号議案 令和5年度経費の賦課及び徴収方法の決定について
- 第6号議案 令和5年度理事に支払う報酬の額の決定について
- 第7号議案 令和5年度監事に支払う報酬の額の決定について

感謝状・表彰状贈呈

永年にわたり、JAの事業運営や地域農業の発展にご尽力いただいた次の方々に感謝状及び表彰状を贈呈しました。(敬称略)

◆感謝状

総合運営委員

● 紫波地域農家組合協議会長
(漆立農家組合)

漆沢 功

● 矢巾地域農家組合協議会長
(白沢第1農家組合)

高原 弘明

● 盛岡地域農家組合協議会長
(羽場農家組合)

阿部 一夫

● 水稻生産部会長

遠藤 茂哉

● 小麦生産部会長

高橋 長榮

● 盛岡市認定農業者協議会長

藤村 勉

● 青年部委員長

澤口 剛志

● 農家組合長

● 吉水農家組合

菅川 正

● 北日詰農家組合

阿部 博光

● 彦部第9農家組合

石川 雄一

● 東部第3農家組合

作山 一夫

● 佐比内第6農家組合

山下 栄悦

● 赤沢第3農家組合

大弓 一雄

● 西徳田農家組合

高館 信雄

● 矢巾農家組合

藤原 孝人

● 見前町農家組合

長澤 徳司

● 森合農家組合

館澤 森浩

● 下太田農家組合

井上 英和

● 東山農家組合

石川 和雄

● 谷地上農家組合

赤石 和助

◆全国表彰

● (公)大日本農会令和4年度
農事功績表彰・緑白綬有功章
高橋 信・美喜子

総代・組合員懇談会

J Aでは、第24回通常総代会に先立ち、4月19日から24日にかけて、延べ6会場で総代・組合員懇談会を開催しました。

懇談会場や書面において、組合員の皆さまからいただいた質問・意見についての回答を一部抜粋してご報告いたします。（誌面の都合により編集しています）

Q 理事及び監事の報酬額について、総合運営委員会委員及び学識経験者ら7人による「役員報酬審議会」とあるが、どのような構成員になっているのか。

A 令和4年度役員報酬審議会の委員は、役員報酬審議会設置要領に基づき、総合運営委員会委員のうちから紫波・矢巾・盛岡地域の農家組合協議会長と、作目

別生産部会代表者の3名と

して水稻生産部会・もち米生産部会・りんご部会の各部会長、そして学識経験者1名として紫波町農政課長の計7名に対し、組合長が

委員の委嘱を行い構成しております。なお、役員に対する報酬等の支払額につきまして、総代会資料の「事業報告の付属明細書」欄に掲載されますのでご確認をお願いします。

Q 財務・事業成績の推移について、信用事業の「貯金」と「預金」の違いを教えてください。

A 当J Aの会計において、「貯金」は、信用事業の負債科目であり、組合員の皆さま並びに利用者の皆さまから普通貯金や定期貯金、定期積金等として預かりしている資金を指して「貯金」と称し表記しております。

また、「預金」は、組合員の皆さま並びに利用者の皆さまから貯金としてお預かりしている資金などを、当J Aが岩手県信用農業協同組合連合会（J A岩手県信連）や他行（銀行）に資金の預け入れを行っているものを、信用事業の資産科目として「預金」と称し表記しております。当J A内の会計上では、負債科目と資産科目という違いで区別しております。ただし、一般的に金融事業利用者の立場で見た時の「貯金」と「預金」はどちらも金融商品であり、「貯金」は郵便局で取り扱っている金融商品名で「預金」は銀行等で取り扱っている金融商品名となっております。

由として、一つは今後10年を見通した計画について、各部署を横断しながら責任を持って進めていくためです。また、行政をはじめとして、定年制の延長といったことが取り組まれてきております。当J Aにおいても、定年制の延長について、人件費や雇用体制等をどのように整えるのか検討を進めていくという大きな使命を持って、参事制の中で集中して取り組んでまいります。

Q 参事制を導入した具体的な理由は何か。

A 参事制を導入した主な理





Q 以前、支所再編説明会で理事定数の削減の説明があったが、今後の理事定数の削減の有無について確認したい。

A 昨年の総代会で理事定数の変更を行い、現在の理事22人は15人以上18人以内に、監事6人は4人以上5人以内となりました。来年の役員改選では理事を紫波5人、矢巾3人、都南3人、盛岡2人のほか、実務精通、女性理事を含めて全体で16人とする予定です。今年の12月頃から具体的な説明会を行ってまいります。

Q 信用事業について農機具購入に伴う利子補給制度等を組合員に周知願う。

A 現在、信用事業で取り扱っている利子補給制度には、農業機械等の購入時や営農にかかる運転資金借入をお申込みいただく際に、最大で1%の利子補給を最長5年間受けることができるとする制度があり、その対象となる資金は「農業経営改善促進資金（スーパース資金）」「農業近代化資金」「アグリマイティー資金」「担い手強化資金」がございいます。利子補給を受けるにあたっては、借入金額や資金使途などの各種要件がございいますので、農家組合の文書配布の際にチラシ等により組合員の皆さまにお知らせしてまいります。

Q 野生鳥獣被害が深刻な状況となっており、対策についての個人負担は限界がある。JAとして独自の鳥獣対策はあるか。要望としては、JA職員の罾猟免許取得を促進してほしい。

A JA独自ではありませんが、盛岡市では鳥獣被害協議会も組織されており、以前から事業として駆除等の活動は行われていました。被害防止の電気柵設置には自治体、国の補助もあり、JAとしては協議会への費用負担のほか、個体駆除や罾の設置の確認など協議会を通じ、活動を行っています。また、JA職員の罾猟免許取得については、昨年4名が取得しました。罾猟には経験が大事でありますので、今後経験を積ませて実働できるように目指してまいります。

Q 出資配当に准組合員は含まれるか。

A 出資配当に准組合員は含まれます。正組合員と同様に年1%が支給されます。

Q 組合員懇談会の資料は事前に配付できないか。

A 当JAでは決算基準日を毎年2月末日としており、決算処理作業により、1カ月を要しております。組合員懇談会は例年4月中旬以降の開催で計画し、資料の記載内容の校正作業から印刷業者への製本依頼までのスケジュールを考慮しますと、事前の配布については難しいと考えております。また、組合員懇談会の開催時期を調整し、事前配布が可能か検討した場合、春作業の繁忙期等と

重なる可能性が考えられ、開催期日の調整は難しいと考えております。

Q 総代会の開始時間について、午後1時からでは遠方から出席される方で昼食を食べられなかったなどの話を聞くことから、開始時間を午後2時頃からに変更できないか。

A 総代会の開始時刻につきましては、大きな会場（矢巾町田園ホール等）をお借りしてコロナ感染症感染防止対策を考慮しながら開催させていただいております。会館の使用制限時間の範囲内で、閉会後の後片付けなど撤収に要する時間等を見込んで上で、午後1時の開始としております。遠方の方のご事情を察するところもございいますが、何卒、ご理解・ご協力をお願いいたします。



「銀河のしずく」のさらなる飛躍を 達増県知事が田植え

News File
ダイジェストを公開中!



田植えを行う達増知事

JAとJAいわて中央「銀河のしずく」栽培研究会は5月18日、紫波町大巻で「銀河のしずく」の田植え行事を開きました。同行事には、関係者らおよそ50人が参加。晴山敏彦水稲生産部会長の水田で達増拓也知事が田植え機を使って苗を植え、生産拡大と消費拡大を祈願しました。

達増知事は「『銀河のしずく』は平成28年のデビュー以降、生産者の皆様のご尽力により発展してきた。今後、さらに飛躍していくよう、県として取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。

昔ながらの手植えに挑戦!



盛岡市立飯岡小学校 田植え作業体験



泥の感触を楽しみながら植え進める児童ら

盛岡市立飯岡小学校の5年生42人は5月24日、JAの浅沼清一組合長らの水田6aで、もち米「ヒメノモチ」の田植え作業を体験しました。

田植え前には、JA担当者が田植え定規を引いて使う方を実演。児童らは田についた印に沿って、浅沼組合長や地域住民らに教わりながら丁寧に苗を植えました。児童からは「手で植えてみて昔の人の苦勞が分かった」「収穫したらもちにして食べるのが楽しみ」といった声が聞かれ、浅沼組合長は「これから収穫までしっかりと生育を観察してほしい」と呼び掛けました。

個性あふれる寄せ植え完成!



JA矢巾地域女性部 寄せ植え講習会



完成した寄せ植えを前に笑顔を見せる部員ら

JA矢巾地域女性部は5月23日、盛岡市三本柳のサン農園で寄せ植え講習会を開きました。部員15人が参加し、同園の藤澤美智子さんの指導を受けながら色とりどりの花を使って寄せ植え。参加者は「コツを教わりながら寄せ植えができた。久しぶりに皆にも会えて嬉しかった」と笑顔を見せました。

同部では手芸や音楽などのカルチャー教室を展開。戸塚幸子部長は「教室をきっかけに活動に興味を持ってくださる方も増えている。女性部の魅力を発信しながら活動を継続していきたい」と話しています。

広範囲で果樹に影響



凍霜害の 被害調査を進める



被害状況を確認するJA担当者と畠山常務

管内では、4月末から5月上旬にかけて広範囲で発生した低温の影響で、リンゴやブドウなどを中心に凍霜害が発生しています。リンゴは花芽の障害、ブドウは新梢の枯死が確認されており、結実不良や奇形果等の発生が懸念されています。

JAでは、凍霜害の被害調査を進めており、5月24日には、畠山進常務やJA担当者が園地を巡回し、被害状況を確認。畠山常務は「被害の実態を把握し、対策を検討するとともに、次期作に向けた生産意欲を高めていきたい」と話しています。

本格出荷を前に規格再確認



ハウスキュウリ 栽培講習会・目揃え会



出荷サンプルを見ながら規格を確認する参加者ら

JAは5月12日、管内2会場でハウスキュウリの栽培講習会と出荷規格目揃え会を開きました。

紫波町彦部で行った講習会には生産者7人が参加し、市場情勢や出荷規格、梅雨時期にかけての病害虫防除について確認。今後1カ月の気象予報では、気温・降水量ともに平年並みまたは高いことが予想されるため、JA担当者は「遮光やかん水による温度管理、そして薬剤散布による病害虫防除の効果を高めるため摘葉作業による採光・通風の確保も積極的に行ってほしい」と呼び掛けました。



JA SISTERS NEWS

隔月で姉妹JAの取り組みを
皆さまにお届けします！

今月は愛媛県

JAえひめ南

〳 姉妹JAとは？ 〵

JAいわて中央は宮城県の「JA新みやぎ」、愛媛県の「JAえひめ南」、福岡県の「JA筑前あさくら」と姉妹JA提携を結んでいます。自然災害など不測の事態が起きた際に互いに助け合うことや相互交流を深めることなどを目的としています。



たんぼぼ学級開校式

4年ぶりの料理講習を開催

JAえひめ南三間町支所女性部のたんぼぼ学級は5月9日、同支所で開校式を開き21名が出席しました。

第1回の活動では、こめ油の製造や販売をしている築野食品工業(株)などを講師に招き、Aコープマーク商品を使った料理講習を実施。実習では、かき揚げ・かに玉・トウモロコシの混ぜご飯などこめ油を使った料理を8品完成させました。4年ぶりの料理講習で部員同士の交流を深めながら楽しめました。谷口眞弓部長は「みんなで楽しく協力しながら活動を行い、心をついて活動していきたい」と話しました。



料理を楽しむ部員ら



米穀

今月の担当

矢巾地域営農センター 米穀課 中田 玲央

分げつ期から 幼穂形成期の管理について



育苗期間中は気温の寒暖差が大きかったこともあり、水稻苗の病気の発生が見られました。田植え期間中は天候に恵まれ適期に終わる事ができました。

水稻の丈夫な体を作るためには6月の水管理が重要となりますので、生育に合わせた水管理を行いましょう。

1. 分げつ期の水管理 (6月上旬～下旬)

田植え後の苗は、茎が徐々に枝分かれしていきますが、これを「分げつ」と言います。分げつを促進させるためにも、気温の高い日は浅水管理(水深3～5cm)を行います。

また、最高気温が15℃以下の低温時は葉先が出る程度の深水管理を行います。

除草剤の効果を持続させるためにも、この期間中は田面を露出させないようにしましょう。

2. 中干し (6月下旬～7月上旬)

中干しは、根の伸長促進や無効分げつ(穂にならない茎)の発生を抑える作業です。目標とする茎数【表1】を確保したら落水します。田面に小さな亀裂が入る程度を目安として7～10日間乾燥させ、その後は間断かん水を行います。急に水を入れると根が弱まるため、徐々に入れましょう。また、溝切りを行うと排水の悪い圃場の水管理が容易になり、土壌を固め、秋作業を楽にします。

3. 雑草防除

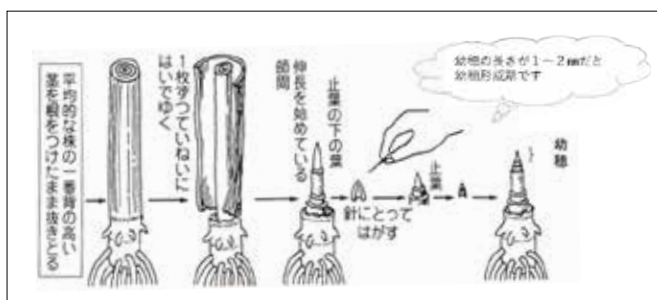
一発除草剤で雑草を取りこぼした場合は、雑草の種類に応じて中期除草剤【表2】を散布します。ただし、特別栽培米ではバサグラン以外の使用はできないため、注意して下さい。

4. 幼穂形成期の水管理 (7月上旬)

幼穂形成期は4～6cmの湛水状態にしますが、低温にあたりと籾が形成されない障害不稔が起きやすいため、低温予想時には深水管理で茎の中の幼穂を保護しましょう。

品種名	6月下旬の目標茎数 (60株/坪植え)
銀河のしずく ひとめぼれ	25～30本
ヒメノモチ	20～25本

【表1】 品種ごとの目標茎数



【図1】 幼穂形成期の見方

薬剤名	適用雑草
クリンチャー	ノビエ
バサグラン	ホタルイ、シズイ、クログワイ
クリンチャーバス	ノビエ、ホタルイ、シズイ、クログワイ
レプラス	

【表2】 中期除草剤一覧

紫波地域農業気象協議会から

気象情報ホームページのお知らせ

紫波地域農業気象協議会では気象観測ロボット施設を活用し、紫波地域の気象観測データや気象庁発表の降水量予測などの情報をリアルタイムで提供しています。※スマートフォンからご覧いただけますのでご利用ください。

気象情報ホームページ | <http://www.shiwa-tenki.jp/>



5. その他

病気の発生や発生が疑わしい場合、雑草対策についてのお問い合わせなどがございましたら最寄りの営農センターへお気軽にご相談下さい。

JAいわて中央は
東北一の産地！

JAではズッキーニの 新規生産者を募集しています！

JAでは現在、約90人の生産者・21.8haの面積でズッキーニの栽培に取り組んでいます。部会では販売額1億5,000万円を目指し取り組んでおりますので、興味のある方はお気軽にJA各地域営農センター園芸特産課までお声掛け下さい。



ズッキーニ栽培のおすすめポイント

初期投資が少ない

栽培に必要なものは種、肥料、マルチなどの資材のみ！露地栽培のためビニールハウスや支柱などの設備は必要ありません



作業性が良い

株間が約80cmで畝幅が約90～120cmと作業がしやすく、出荷段ボールも2kg・4kg詰めと比較的軽量のため、女性や年配の方にもおすすめです



初心者でも安心

専門的な栽培技術は不要！栽培指導会と目揃え会で管理作業や出荷規格について一から学ぶことができるため、安心して始めていただけます



基本の栽培スケジュール

作 型	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
①セル苗	播種	定植																
②直播き				播種														
				直播きの場合、6月以降も順次作付け可能						播種								
																		収穫

今年度の栽培は始まっていますが、直播きでの栽培はまだ間に合います！※最終播種は8月5日まで

子牛市場情報 (令和5年5月19日・中央家畜市場)

地 区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌 紫 波	23	536,000	295,000	417,304	292	-20,053
矢 巾	6	589,000	363,000	441,167	312	3,567
盛 岡	6	664,000	330,000	436,333	289	28,433
J A 計	35	664,000	295,000	424,657	295	-2,584
市場計	146	664,000	258,000	424,384	297	545
地 区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去 勢 紫 波	19	710,000	360,000	516,421	318	53,492
矢 巾	11	681,000	354,000	508,818	343	-32,235
盛 岡	14	608,000	397,000	465,143	317	-39,857
J A 計	44	710,000	354,000	498,205	324	2,009
市場計	196	827,000	354,000	516,469	327	-32,878

農作業安全講習会

「第2回 草刈り機械を使おう (座学&操作講習)」

日 時 令和5年 7月19日(水)
10時～11時半頃

場 所 JA全農いわて
純情産地営農支援センター敷地内

申込期限 令和5年 7月12日(水)まで

定 員 20名(先着順)

お申し込み・お問い合わせ

営農販売部担い手対策課

☎676-3428

(受付時間:平日8:30～17:00)



令和5年度 イケパパセミナー参加者募集中！



料理や工作、農作業体験を通じて、「イケ」てる「パパ」を目指す「イケパパセミナー」。
今年度は全4回の開催予定で、第1回・第2回ではJAの特産物でもあるズッキーニの栽培に挑戦します！
※第3回・第4回の開催日程については、今後広報誌やJAホームページ等でお知らせいたします

第1回	ズッキーニの苗植え体験	会場	盛岡市飯岡地区の畑（参加者には追ってご連絡いたします）
	日時 令和5年 7月22日（土）10時～12時	対象者	小学生以下のお子さまをもつお父さんとその家族
第2回	ズッキーニの収穫体験	定員	各回先着10組 （両方参加・片方参加どちらも可能です） ※定員に達し次第、募集を締め切ります
	日時 令和5年 9月9日（土）10時～12時	参加費	一家族500円 ※JAいわて中央組合員家族は半額

申込は
こちら



参加をご希望の方はJAホームページの申込専用フォームからお申し込みください

お申し込み・お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7468

令和5年度 広報モニター募集のお知らせ

JAでは、分かりやすく親しみやすい広報活動を進めるため、意見や助言をいただく広報モニターを募集します。皆さまのご意見をぜひお聞かせください。



対 象	JAいわて中央管内（盛岡市・紫波町・矢巾町）在住の満20歳以上の組合員で、モニター任期が終了するまで継続して管内在住が見込まれる方。さらに、モニターアンケートに全て（毎月1回・全4回）締切日までに必ずご返送いただける方。		
内 容	月1回発行の広報誌「ほっぶすてっぶJAんぶ」を8月号～11月号までお読みいただき、ご感想やご意見などをアンケート用紙にご記入の上、返信用封筒にてご返送いただきます。		
任 期	令和5年8月1日（火）～令和5年11月30日（木）		
募集人数	4人 （応募多数の場合は抽選）	謝 礼	5,000円分の商品券 （任期満了時、すべてのアンケートに回答いただいた方）
応募方法	郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、志望動機を記入の上、郵送またはメールにてご応募ください。※様式は任意です。電話、FAXでの応募は受け付けておりません。		
応募先	〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20 企画管理部企画課「広報モニター応募」係 メール kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp		
お問い合わせ	企画管理部企画課 ☎673-7480		



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!



今月は

夏の感謝祭

サン・フレッシュ都南では、7月8日・9日の2日間、日頃の感謝を込めて「夏の感謝祭」を開催します。期間中は、農産物の詰め放題やお買い物金額2,000円ごとに生産者出荷品などと交換できる引換券のプレゼント、そして屋外の会場では屋台やお子さま向けの縁日など、通常よりスペースを広げて開催予定です。ぜひご家族でお買い物やお食事をお楽しみください。

店内には
キュウリやトマト、
ズッキーニなど、
夏野菜の出荷も
増えてきましたよ!



小枝店長

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853
岩手県盛岡市下飯岡21-180
TEL 019-637-6801
営業時間 9:00~18:00

Twitter



イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

種苗まつり

~6月下旬まで



まちの スマイル

Vol. 20

盛岡市・土淵

いとう よしゆき

左 伊東 善幸さん(50)

あきこ

右 晶子さん(49)

米やネギ、ミニトマトなどを栽培している伊東さんご夫婦。「少しでも効率よく作業できるよう、機械や道具の整備を心掛けています」と日々の作業を丁寧にこなす善幸さんの横で、「結婚を機に農業を始めましたが、外で広々と作業できるのが良いリフレッシュになっています」と晶子さんは笑顔を見せます。

仲良しの秘訣を聞くと「付かず離れず、程よい距離で互いを思いやること」と照れくさそうに笑うお二人。今後について「健康に気を付けながら家族で農業を続けたい。そして子どもの成長を見守るのがこれからの楽しみです」と話しています。

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

雨の日の楽しみ方

応募締切 6月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ6月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

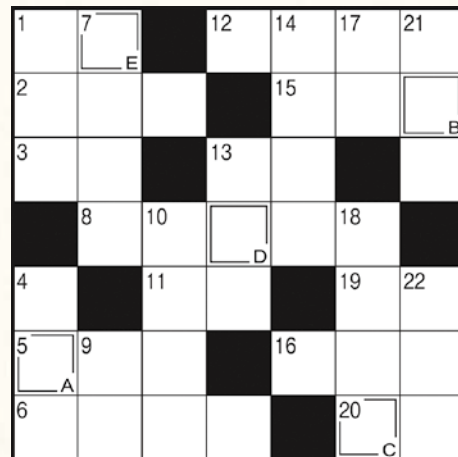
広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5月号の答え
「アマリリス」



→ ヨコの力ギ

- ① 1年で一番昼が長い日
- ② 徳川家康が晩年を過ごした——城
- ③ 不動産会社が売買するものの1つ
- ⑤ 『落穂拾い』や『晩鐘』を描いた画家
- ⑥ 奈良や鎌倉のものが有名
- ⑧ テッセンとも呼ばれるキンポウゲ科の花
- ⑪ 相撲取りが踏みます
- ⑫ 抑揚のないせりふ回しは
- ⑬ トウモロコシやゴーヤーが多く出回る季節
- ⑮ 弁当箱にご飯と一緒に詰めます
- ⑯ ——コート、——ブーツ
- ⑰ 円周率を表す文字
- ⑳ ネタとシャリで作ります

↓ タテの力ギ

- ① 招く側がホストなら、招かれる側は
- ④ タマネギを切ると出ることも
- ⑦ 建てたばかりの建物のこと
- ⑨ 数字のゼロを日本語でいうと
- ⑩ サープ→ —— →トス→アタック
- ⑬ 「海鼠」と書く生き物
- ⑭ 置時計はクロック、腕時計は
- ⑰ 仕事や用事がない空き時間のこと
- ⑱ コショウ、ナツメグ、シナモンのこと
- ㉑ プールの授業のときに着ます
- ㉒ 領収書に収入——を貼った

テーマ 行楽の思い出

皆様からのお便りをご紹介します！



数年前、家族と一緒に八幡平のドラゴンアイを見に行きました。きれいに開眼されていませんでしたが、それでも行けて大満足でした。今度はリベンジできれいな開眼を見に行きたいですね。

(桜町・F/26歳)

限られた時期だけ望めるドラゴンアイの絶景。次はきれいに見れるといいですね！

行き先を確認しないで電車に乗り、次の駅で降り、乗り直しました。目的地の駅に着いた途

端、鶯が高らかに鳴いて出迎えてくれて、出発時の失敗も吹き飛びました。

(清水町・I/75歳)

振り返ってみれば失敗も旅の醍醐味の一つ！そんな経験も大切な思い出ですね。

身近な行楽は毎年のお花見です。いつも城山の桜を楽しみにしております。3年前はコロナで閉鎖、今年こそと思っていたら熊出没で閉鎖です。残念！

(津志田・T/70歳)

桜の名所なのでとても残念でしたよね。来年こそは安心してお花見ができますように…。

お弁当のおにぎりです。作りたてより、時間が経った方が味が馴染んでおいしい感じがして、多めに持って行ってわざと残して、帰宅後食べていました。

(岩清水・S/43歳)

おにぎりには、冷めてもおいしい岩手のブランド米「銀河のしずく」もおすすすめです！

退職者

◆ 佐藤 美由紀
(紫波支所組合員課)
令和5年5月31日付で、次の方が退職されました。今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。()は前所属。

- 5 理事専門委員会委員の選任
- 4 第24回通常総代会における特別決議
- 3 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書
- 2 令和5年度信用の供与等の最高限度額の決定
- 1 令和4年度下半期末監事監査の改善を要する事項に対する回答

【議決事項】

5月定例理事会が5月25日、紫波支所で開かれ次の議案について決議されました。

理事会報告



役員手帳

肥料の安価供給に向けた 継続的な取り組みを

常務理事 畠山 進

組合員の皆さまには、日頃よりJA事業推進にご支援、ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの関係においては、5月8日からインフルエンザ並の扱いに変わりました。日常が戻ることを歓迎しつつ、警戒を怠らないよう活動をお願いします。

さて、昨年より様々なものの値上げが相次ぎ、農業関係でも肥料など多くの生産資材が値上りし、国や県、市町において対策が講じられたところ。JAでも肥料価格高騰激変緩和対策として対策を講じることとしたところであります。

今後の肥料価格の情勢については、輸入原料である尿素、りん安、加里の価格が値下がりしており、令和5年秋肥で組合員の皆様に供給する肥料は20%から30%程度値下げとなる見込みであります。しかしながら、国内産原料から製造される肥料については、製造諸経費の上昇の影響が大きく、値上げせざるを得ないものもあることから、引き続き、入札や見積合わせなどに取り組み安価供給に努めてまいります。

令和5年につきましては、岩手県オリジナルブランド米「銀河のしずく」への作付転換が大きく行われる年となり、新たな販売戦略を関係機関一丸となって展開してまいります。結びに、厳しい農業情勢ではありますが、営農が持続できるよう、政策を有効に活用しながら農畜産物の販売に全力で取り組んでまいります。

INFORMATION

JAバンク岩手

サマーキャンペーン2023

キャンペーン期間

令和5年6月1日(木)～7月31日(月)

©よりぞう



先着でプレゼント!

条件 定期貯金・定期積金
10万円以上の契約
(新規または増額)

よりぞう
ポケットブルエコバッグ



※お一人様1個まで サイズ:約W375×H380(mm)

抽選でプレゼント!

条件 定期貯金300万円以上の
新規契約(300万円ごと1口)

※窓口でのご契約分のみ対象

JAバンク岩手オリジナル
いわて牛希少部位食べ比べセット

県内合計100名様



※お一人様1セットまで ※写真はイメージです

さらに!

JAネットバンク限定!定期貯金の特別な金利上昇せ

店頭金利

十年 0.05%

【適用条件】期間中、JAネットバンクで新規に定期貯金10万円以上300万円以内(期間1年(12ヶ月)・自動継続)をお預入れの方

詳しくはこちら



※窓口にて、通帳等で条件を満たしていることが確認できる場合はよりぞうポケットブルエコバッグもプレゼント!

ご相談はお近くのJA金融窓口・金融渉外までお問い合わせください

白アリ・スズメバチ・ネズミ・コウモリなど

害虫や害獣で
お困りの方

無料で調査致します!



全農・農協取引業者「大塚薬品工業(株)」

ご相談はお近くの
生活推進課へ

紫波地域営農センター ☎676-3342
矢巾地域営農センター ☎697-6211
盛岡地域営農センター ☎638-0011
サブセンター盛岡 ☎656-3700

- ◆ 戸塚 陽平
(営農販売部畜産課)
- ◆ 川村 龍聖
(営農販売部盛岡地域営農センター園芸特産課)
- ◆ 横手 はるな
(営農販売部盛岡地域営農センター園芸特産課)
- ◆ 佐々木 早希子
(盛岡支所共済課)

令和5年6月1日付で、登用となりました職員をご紹介します。
皆様のご指導ご鞭撻の程よろしく願います

登用職員



新ジャガイモとホタルイカのサラダ

材料（2人分）

ポイルホタルイカ	8杯
新ジャガイモ	1個
ブロッコリーのナバナ(他のナバナでも可)	6本
ニンニク	1片
オリーブ油	大さじ1
塩	適宜
【A】	
マヨネーズ	大さじ2
レモン汁	小さじ1
マスタード	小さじ1/2

作り方

- ① ホタルイカは目とくちばしを取り除きサッとゆでてざるにあげ、ナバナもサッと塩ゆです。新ジャガイモは5mm角の拍子木切りにして水にさらす。【A】は混ぜ合わせてソースにする
- ② フライパンにオリーブ油を入れ、弱火でつぶしたニンニクの香りを移し(2～3分ほど)、水気を抜いた新ジャガイモを入れ中火で炒め、火が通ったらホタルイカ、ナバナを入れ塩で味付けしサッと炒める
- ③ 器に彩り良く盛り付け、【A】のソースを流し出来上がり

編集後記



4年ぶりの開催となったちゃぐりんスクール。私も新採用の時に参加して以来、数年ぶりに田んぼの中へ入ってきました！体中泥だらけになって元気いっぱい苗を植え進める子どもたちの姿に癒やされながら、自然と触れ合う無邪気な表情をたくさん写真に収めることができ、充実した田植え日和となりました。



凍霜害の被害調査に同行してきました。被害状況の把握にはもう少し時間が掛かりますが、収量や品質への影響が最小限に収まることを願うばかりです。その年の出来の良し悪しだけでなく、次期作を見据えた管理が欠かせない果樹栽培。生産意欲維持のため、広報誌等を通じ継続的な情報発信を続けていきたいと思っています。